



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 EIZO株式会社

コード番号 6737 URL <https://www.eizo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 恵比寿 正樹 TEL 076-275-4121

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	36,566	△16.4	2,212	△66.5	2,508	△64.3	3,127	△39.3
2022年3月期第2四半期	43,743	38.0	6,610	349.0	7,034	252.0	5,152	283.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 381百万円 (△95.9%) 2022年3月期第2四半期 9,348百万円 (32.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	148.16	—
2022年3月期第2四半期	241.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	150,839	115,633	76.7	5,566.12
2022年3月期	155,459	118,582	76.3	5,562.01

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 115,633百万円 2022年3月期 118,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2023年3月期	—	60.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	65.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	△5.5	5,400	△52.2	6,200	△48.8	5,700	△26.9	273.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2022年10月28日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	21,981,160株	2022年3月期	22,731,160株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,206,706株	2022年3月期	1,411,088株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	21,105,489株	2022年3月期2Q	21,320,178株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetで本日（2022年10月28日）開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな景気の持ち直しの動きが見られる一方で、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引き締めに伴う景気下振れリスクの高まりなど、先行き不透明な状況となっております。

当社グループは、映像技術を核とした顧客のニーズに応じた最適な映像環境ソリューションを提供する「Visual Technology Company」として、世界トップレベルの高品質かつ信頼性の高い映像製品の提供、システムソリューションの提案を行っております。

2022年度は、2023年度を最終年度とする第7次中期経営計画の達成に向けた重要なステップの年となります。強固な財務基盤を活かし研究開発・設備・人的資本への投資を引き続き積極的に実行し、事業成長を実現してまいります。また、「撮影、記録、配信、表示」から成るImaging Chainをシステム事業として展開するEVS (EIZO Visual Systems) を本格的に立ち上げ、事業領域を更に拡大し新たな価値を提供してまいります。

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は36,566百万円（前年同期比16.4%減）と前年同期を下回りました。アミューズメント市場向けにおいて前期の新規機への集中的な入替需要の反動減により売上高は前年同期を下回りました。一方、B&P (Business & Plus) ・ヘルスケア・V&S (Vertical & Specific) は引き続き強い需要のもと販売が伸張し前年同期を上回る売上高となりました。前期における一部材料の調達難による生産調整の実施や期末の需要増の対応により、当期は国内外の強い需要に対して製品供給が満たせていない状況からスタートしましたが、当社の100%自社開発・生産を活かした機動的な挽回生産の実施によって、製品供給を進めることで販売増に繋がりました。加えて円安も売上高増加に寄与しました。

利益面については、材料費の上昇に対し販売価格への転嫁を進めてきたものの、アミューズメント市場向けの売上高の減少及びドル高によるコスト増の影響を受け、売上総利益は11,916百万円（前年同期比27.0%減）、売上総利益率は32.6%（同4.7ポイント低下）となりました。また、販売費及び一般管理費は9,704百万円（同0.2%減）と前年同期並みとなりました。その結果、営業利益は2,212百万円（同66.5%減）、経常利益は2,508百万円（同64.3%減）となりました。特別利益として投資有価証券売却益1,943百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,127百万円（同39.3%減）となりました。

市場別の売上は次のとおりです。

[B&P (Business & Plus)]

売上高は、8,555百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

海外においては、売上高は前年同期を上回りました。欧州を中心に需要は引き続き強く、製品在庫及び供給を満たすべく生産を進めました。特にドイツでの販売が好調に推移しました。国内においては、流通段階において在庫を調整する動きが見られ、売上高は前年同期を下回りました。

[ヘルスケア]

売上高は、15,428百万円（前年同期比15.7%増）となりました。

診断用途向けは、欧州では堅調な販売が継続したほか、北米でも需要の回復が見られました。国内においても、前期からの設備投資需要が継続しました。内視鏡用途向けは、中国では5月までCOVID-19によるロックダウンの影響を受けたものの6月以降は回復し、欧米でも好調に推移しました。

[クリエイティブワーク]

売上高は、2,735百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

前期に引き続き堅調な需要があり、第2四半期に本格的に発売した新製品は海外・国内ともに好調な販売となりました。ただし海外においては、第1四半期に十分な供給ができなかった影響を取り戻すには至らず、前年同期を下回る売上高となりました。国内においては、新製品効果により前年同期を上回る売上高となりました。

[V&S (Vertical & Specific)]

売上高は、4,340百万円（前年同期比12.1%増）となりました。海外においては、EVSとして展開する監視用途のIPソリューションの導入が北米を中心に好調に進んだことや航空管制向けの販売が伸張したことにより前年同期を上回る売上高となりました。国内においては、前第1四半期の顧客要求に対応したカスタマイズ製品の販売が一巡したものの、航空管制向け及び船舶向けの販売が伸張し、前年同期並みの売上高となりました。

[アミューズメント]

売上高は、3,079百万円（前年同期比77.5%減）となりました。前期は規則改正に伴う旧規則機から新規則機への入替需要がありましたが、当期は入替が完了したことによる反動減もあり、前年同期を大きく下回りました。当業界を取り巻く市場環境は、規則改正後の遊技人口の減少と店舗数の減少等により業界全体の規模縮小が進んでおり、厳しい状況が継続しております。

[その他]

売上高は、2,426百万円（前年同期比19.6%増）となりました。アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が増加したことによるものです。

(単位：百万円)

市場	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
B&P (Business & Plus)	7,912	18.1	8,555	23.4	643	8.1
ヘルスケア	13,337	30.5	15,428	42.2	2,090	15.7
クリエイティブワーク	2,878	6.6	2,735	7.5	△142	△4.9
V&S (Vertical & Specific)	3,871	8.8	4,340	11.9	469	12.1
アミューズメント	13,715	31.4	3,079	8.4	△10,635	△77.5
その他	2,028	4.6	2,426	6.6	397	19.6
合計	43,743	100.0	36,566	100.0	△7,177	△16.4

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は戦略的な在庫の積み増しにより棚卸資産が増加した一方で、主に売掛金の回収が進んだことにより4,620百万円減少し150,839百万円、負債の部は1,670百万円減少し35,206百万円、純資産の部は自社株式の取得等により2,949百万円減少し115,633百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の業績予想につきましては、当初業績予想の前提としていた1米ドル＝130円から乖離しドル高で推移していることに加え、アミューズメントの一部機種種の販売が翌期にずれ込む見通しを受け、2022年5月11日公表の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

なお、今回業績予想の修正にあたり、下期に適用する為替レートを1ユーロ＝138円から146円、1米ドル＝130円から150円に変更いたしました。

当該連結業績予想数値の修正に関する事項は、本日（2022年10月28日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(連結業績予想)

通期 売上高	82,000百万円	(前回発表予想比 4.7%減)
営業利益	5,400百万円	(前回発表予想比 32.5%減)
経常利益	6,200百万円	(前回発表予想比 31.1%減)
当期純利益	5,700百万円	(前回発表予想比 9.5%減)

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,887	11,305
受取手形、売掛金及び契約資産	23,035	15,813
電子記録債権	1,778	1,401
有価証券	8,799	7,300
商品及び製品	10,038	14,844
仕掛品	1,730	2,324
原材料及び貯蔵品	19,980	26,805
その他	1,362	2,159
貸倒引当金	△102	△101
流動資産合計	80,510	81,852
固定資産		
有形固定資産	20,173	21,084
無形固定資産	841	777
投資その他の資産		
投資有価証券	52,824	46,025
その他	1,108	1,099
投資その他の資産合計	53,933	47,124
固定資産合計	74,948	68,987
資産合計	155,459	150,839
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,522	9,080
短期借入金	2,050	2,134
未払法人税等	2,398	923
賞与引当金	1,696	1,356
製品保証引当金	2,177	2,173
その他	4,880	5,073
流動負債合計	20,726	20,740
固定負債		
長期借入金	1,025	996
役員退職慰労引当金	71	71
リサイクル費用引当金	634	605
退職給付に係る負債	3,014	2,950
その他	11,404	9,842
固定負債合計	16,150	14,465
負債合計	36,876	35,206

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,317
利益剰余金	82,039	82,404
自己株式	△2,664	△3,237
株主資本合計	88,114	87,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,801	24,531
為替換算調整勘定	1,440	3,022
退職給付に係る調整累計額	226	168
その他の包括利益累計額合計	30,467	27,722
純資産合計	118,582	115,633
負債純資産合計	155,459	150,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)
売上高	43,743	36,566
売上原価	27,414	24,649
売上総利益	16,329	11,916
販売費及び一般管理費	9,719	9,704
営業利益	6,610	2,212
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	487	548
その他	40	91
営業外収益合計	532	646
営業外費用		
支払利息	11	11
為替差損	94	324
その他	2	14
営業外費用合計	108	350
経常利益	7,034	2,508
特別利益		
投資有価証券売却益	296	1,943
特別利益合計	296	1,943
特別損失		
投資有価証券売却損	—	5
特別損失合計	—	5
税金等調整前四半期純利益	7,331	4,446
法人税、住民税及び事業税	2,457	1,230
法人税等調整額	△278	88
法人税等合計	2,178	1,318
四半期純利益	5,152	3,127
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,152	3,127

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	5,152	3,127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,110	△4,269
為替換算調整勘定	104	1,582
退職給付に係る調整額	△18	△57
その他の包括利益合計	4,196	△2,745
四半期包括利益	9,348	381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,348	381
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,331	4,446
減価償却費	1,108	1,079
のれん償却額	189	—
引当金の増減額 (△は減少)	△59	△425
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△24	△152
支払利息	11	11
投資有価証券売却損益 (△は益)	△296	△1,938
売上債権の増減額 (△は増加)	△837	8,019
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,243	△11,297
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,352	1,269
その他	△1,075	△1,769
小計	9,942	△756
利息及び配当金の受取額	491	556
利息の支払額	△10	△13
法人税等の支払額	△1,738	△2,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,684	△2,720
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△955	△826
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△300	△1
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	426	2,604
その他	△8	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△838	1,780
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△65	△69
リース債務の返済による支出	△112	△105
自己株式の取得による支出	△0	△2,061
配当金の支払額	△1,278	△1,279
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,457	△3,516
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	374
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,432	△4,082
現金及び現金同等物の期首残高	18,882	22,387
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,315	18,305

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大に伴う会計上の見積りについて)

COVID-19に関連する当社グループの将来の業績を見積もる前提につきましては、当第2四半期連結累計期間において重要な変更はありません。

なお、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りにつきましては、当第2四半期連結会計期間末時点で入手可能な情報に基づき実施しております。COVID-19の影響は2023年3月期の一定期間にわたるものと仮定し、会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

3. 補足情報

(市場区分について)

区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、MIL規格対応、その他産業用途 (タッチモニター含む)
アミューズメント	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他	保守サービス及びソフトウェアの受託開発